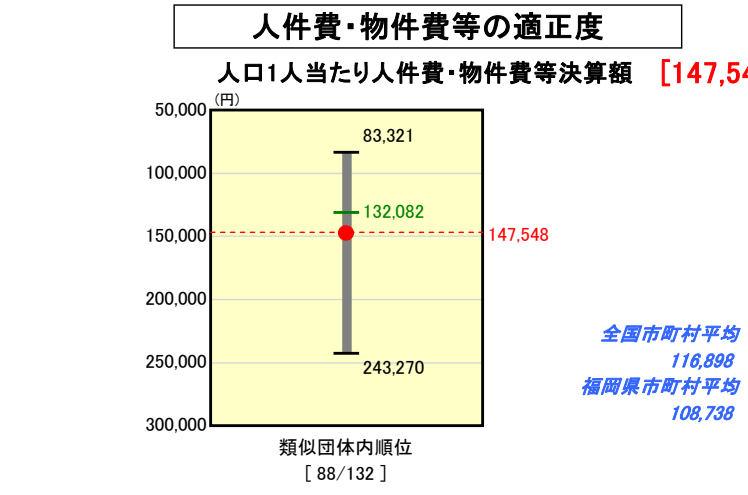
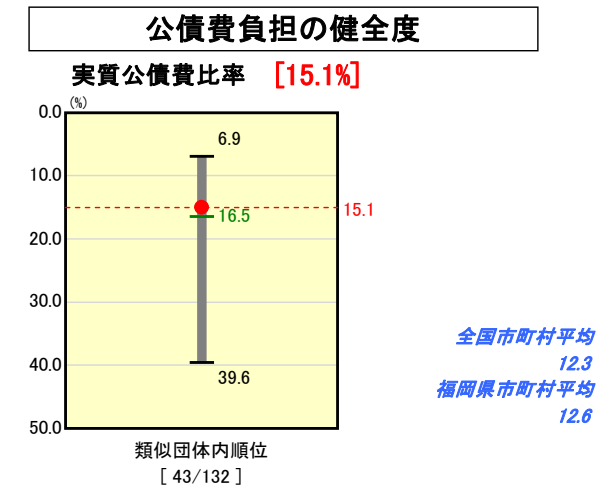
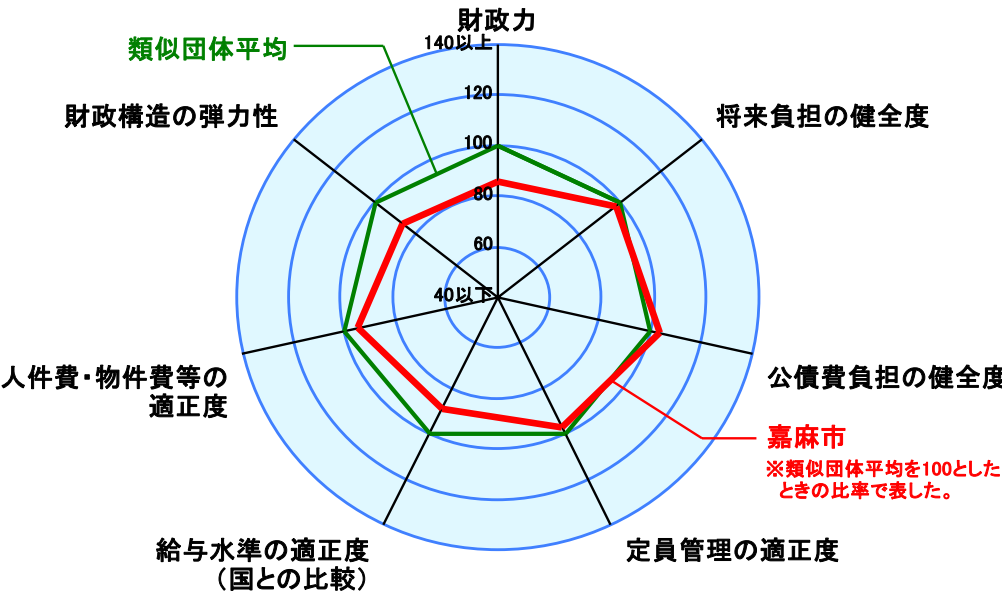
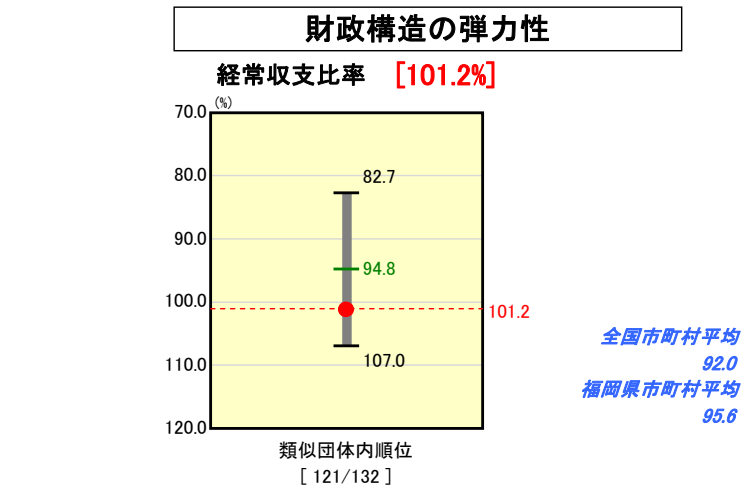
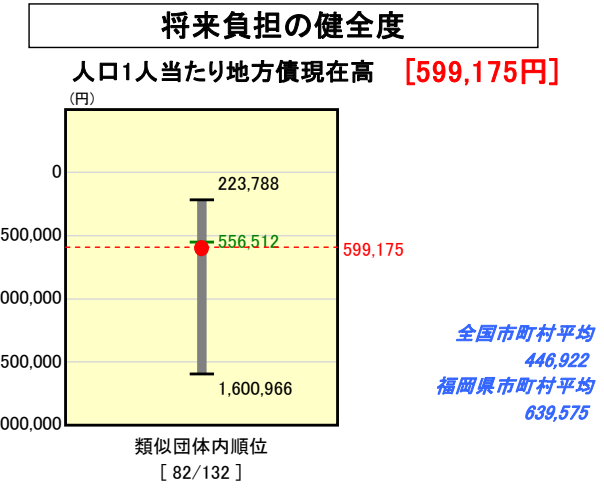
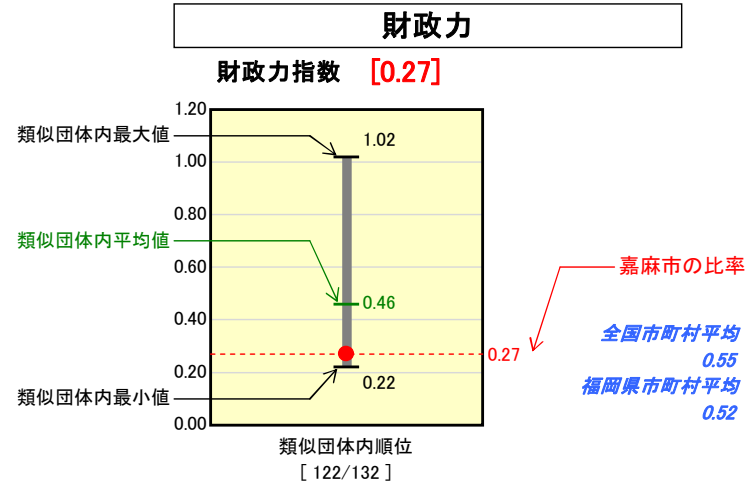


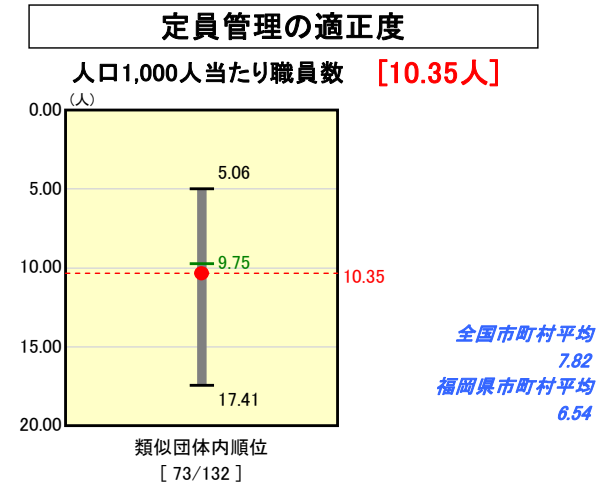
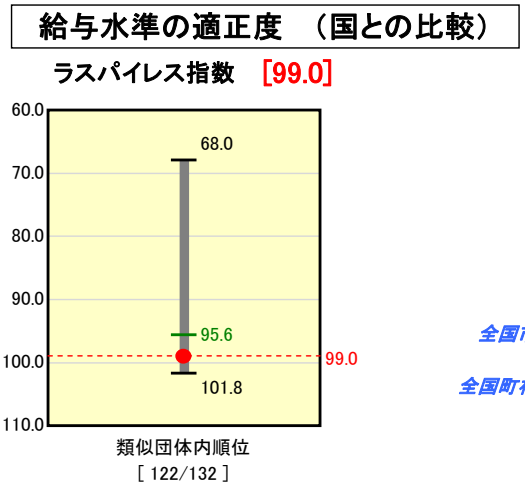
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福岡県 嘉麻市

人口	45,707 人(H20.3.31現在)
面積	135.18 km ²
歳入総額	23,921,575 千円
歳出総額	23,400,773 千円
実質収支	520,802 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成21年2月末現在28.7%)に加え、市内に核となる産業がないことなどから、財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っている。平成21年度において機構改革を実施し、組織のスリム化を図るとともに、行政評価制度を導入し、事務事業の抜本的な見直しを図ることにより、行政運営の効率化に努める。

○経常収支比率
人件費、公債費、扶助費の義務的経費に占める割合が非常に高く、類似団体平均を大きく上回っている。平成19年度より行政改革実施計画を実施しており、退職者不補充による人件費の抑制や補助金の見直しなど、徹底した歳出の削減を図る一方、市税等の徴収強化や使用料・手数料の見直しなど、自主財源の確保に努める。

○ラスパイレス指数
類似団体平均より高い水準となっているが、平成19年度から管理職手当の減額や地域給を導入し、給与体系の抜本的な見直しを図った。また、平成20年度から地域手当を廃止するなど、より一層の給与の適正化に努める。

○実質公債費比率
類似団体平均よりやや低い水準ではあるが、今後も事業実施については総合計画及び過疎地域自立促進計画に基づき、緊急度、住民ニーズを的確に把握した事業選択により、起債に大きく依存することのない財政運営に努める。

○人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均をやや上回っており、平成21年度に既発債の償還ピークを迎える見込みである。今後も合併特例債や過疎債を活用した事業が見込まれているが、後世への負担を少しでも軽減できるよう新規発行債の抑制に努める。

○人口1,000人当たり職員数
類似団体平均をやや上回っているが、平成21年度において合併に伴って肥大化している組織機構を再編するとともに、職員定員適正化計画に基づく退職者の不補充や民間委託等の推進により、適正な定員管理に努める。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体平均を上回っているが、定員適正化計画に基づく退職者の不補充による人件費の抑制や、行政改革実施計画に基づく体育施設等の類似施設の統廃合や指定管理者制度の積極的な導入により、コスト削減に努める。